

神 静 文 芸

劇場があるということ

小田原三の丸ホール職員 森田 百合花

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が



2025年『モモ』と時間の旅より 撮影：ムービー&フォトスタジオ Every Moment



2023年「お芝居をつくる7日間」より 撮影：五十嵐写真館

もりた・ゆりか
2021年より小田原三の丸ホールで勤務。小田原在住5年目。

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が

街とともに、劇場とともに

演出家 川口 智子

二十歳、留学先には、華やかなウエス選んだのは劇場の街ロンドンでした。「何を勉強しに来たの？」と聞かれ「劇場シアター」と答えた私は、入国管理局のスタッフが発行してくれたい思いがあります。ロンドンには有名なミュージカルを口にする劇場もある。無料の劇場が集まっています。街の顔となっています。

二十歳、留学先には、華やかなウエス選んだのは劇場の街ロンドンでした。「何を勉強しに来たの？」と聞かれ「劇場シアター」と答えた私は、入国管理局のスタッフが発行してくれたい思いがあります。ロンドンには有名なミュージカルを口にする劇場もある。無料の劇場が集まっています。街の顔となっています。

ものにした」という館長のリクエストもあり、世界中で愛されるミヒャエル・エンデの児童文学『モモ』に決めました。

出演者は小学1年生から80歳代の幅広い世代の人たちが集まりました。その中には、お芝居が好き、出たことがある、お芝居を観たことがないけど出てみたい！という人までいて、約半年間の稽古は楽しくも、とても大変だったことは言うまでもありません。

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が

劇場留学 『モモ』と音楽の旅

【日時】
2026年3月27日(金)〜29日(日)／4公演

【会場】
小田原三の丸ホール(本町1-7-50 小ホール)

【料金】全席自由
一般3000円、中高生2500円、小学生以下500円

【チケット発売開始】
12月20日(土)、午前10時

【脚本・演出・美術】川口智子
【振付】木原浩太
【音楽】鈴木光介

【原作】ミヒャエル・エンデ作／大島かおり訳 岩波書店刊『モモ』
copyright: Michael Ende Estate (www.michaelende.de), represented by AVA international GmbH, Germany (www.ava-international.de)

【出演】
尾倉ケンタ、栗原沙也加、木原浩太、高橋牧、公募出演者約20名

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が

「劇場留学」誕生のきっかけは、小田原三の丸ホールが開館して1年が経った2022年の夏ごろで、私は小田原三の丸ホールの自主事業の制作担当として、クラシック音楽、演劇、ダンス、古典芸能、展示等、様々な事業を行っている。自身もずっと続く鑑賞事業に飽きていたところがありました。参加型・体験型の事業は職員の時間暇が